

第84期

株主通信 [報告書]

2024年4月1日 ▲ 2025年3月31日



平河ヒューテック株式会社

証券コード：5821

ヒューテックグループ基本理念

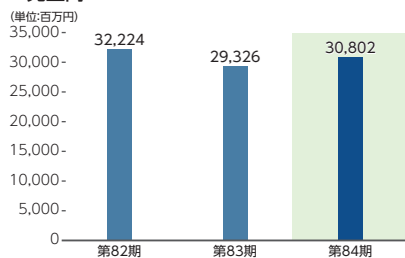
- 1 わが社は、世界水準の製品を創り出すことにより、持続的な成長を遂げ、永遠の存在を目指す。
- 1 わが社は、国際社会に共生する一員であることを意識するとともに、法規等を遵守し、環境保全に努力する。
- 1 わが社は、すべての関係者・機関に調和のとれた満足を提供することを目標とする。
- 1 わが社は、有意義な企業活動を展開することにより社会に貢献する。
- 1 わが社は、互いの価値を認め合う人々の集団であり、熱意をもって向上・革新へ挑戦していく。

平河ヒューテックの製品

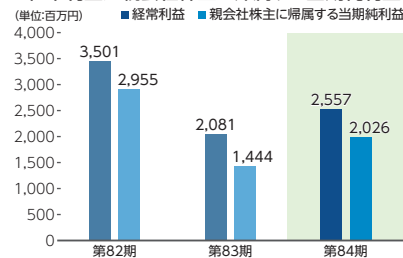


連結財務ハイライト

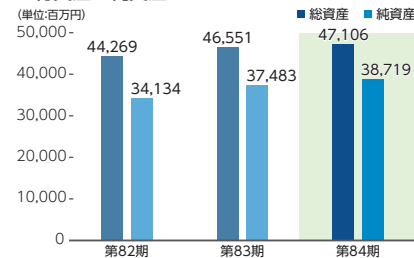
● 売上高



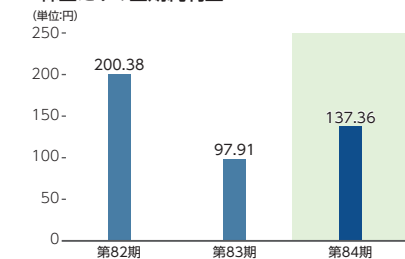
● 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益



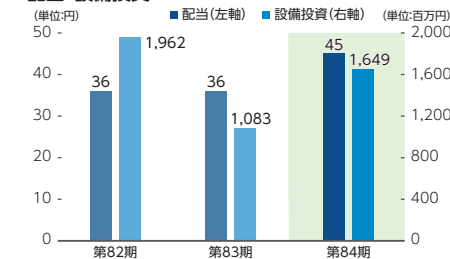
● 総資産／純資産



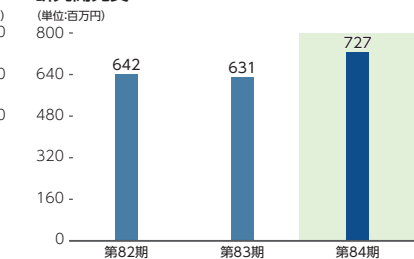
● 1株当たりの当期純利益



● 配当/設備投資



● 研究開発費



(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。前連結会計年度の期首に当該株式割当が行われたと仮定して、1株当たりの当期純利益を算定しております。

研究開発費において、第84期より研究開発費にかかる人件費、減価償却費を含め算定しております。それに伴い、第82期、第83期の金額についても同様に算定しております。



代表取締役 執行役員社長

篠 祐一

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。

第84期の当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、車載市場においては一部で生産停止の影響が見られたものの堅調に推移しました。半導体市場については生成AI用途向けへの積極的な設備投資の動きが見られた一方で民生エレクトロニクス向けの設備投資は低調に推移しました。産業機器市場では本格的な回復には至りませんでした。コスト面においては原材料価格の高騰が継続しました。

このような環境の下、車載用ケーブルは引き続き堅調に推移しました。エネルギー産業関連ケーブルは一部の案件における工期延伸の影響等を取り戻し回復しました。情報通信向けケーブルはサーバ/ストレージ用ケーブルの新規受注、決済端末機器需要増により増加しております。半導体製造装置は復調傾向にありますが、回復は生成AI用途向けが中心であり軟調な推移となりました。産業機器用ケーブルも需要の停滞が続く低調に推移しております。以上により、売上高は262億14百万円(前期比5.6%増)となりました。売上の増加等により、セグメント利益は22億9百万円(同33.1%増)となりました。

電子・医療部品セグメントにおいては、ネットワーク機器において専門用途品が好調に推移しました。医療部品の分野では医療用特殊チューブの売上が増加しました。以上により、売上高は45億55百万円(前期比1.9%増)となりました。売上が増加したことによりセグメント利益は9億円(同6.6%増)となりました。

以上の結果、売上高は308億2百万円(前期比5.0%増)となりました。売上高が増加したことにより、営業利益は22億67百万円(同36.0%増)となりました。経常利益は25億57百万円(同22.9%増)となりました。前期に発生しました訴訟関連損失4億35百万円(特別損失)が無くなったことにより、当年度において親会社株主に帰属する当期純利益は20億26百万円(同40.3%増)となりました。

当期の期末配当につきましては1株につき23円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、各国のインフレ率低下による政策金利の引き下げ等経済の押し上げ要因もあるものの、米国通商政策による世界経済における不確実性の増大、ウクライナ情勢や中東情勢のみならず地政学リスクが高まりをみせるなど、先行きの不透明さが一段と増しております。当社の関連する市場において、AIの活用やデータセンタの増加、様々なIoTデバイスの普及によるデータトラフィックの飛躍的増加に伴い、高速大容量伝送・高信頼性のケーブルの需要が拡大しております。自動車市場では、引き続きADAS機能の向上、車両の電装化が進められており、当社の車載用ケーブルの堅調な推移が見込まれます。また、脱炭素の取り組みを背景に再生エネルギーに対する需要は底堅く、メガソーラー発電所において使用される当社のエネルギー産業関連ケーブルも引き続き需要が見込まれます。先行きが一層に不透明な中でありますが、高速大容量通信が必要とされる領域は変わらず拡大傾向にあります。持続的な成長に向けて売上、利益の拡大に努めてまいります。

役員・従業員一同、一層の努力を重ねてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当期 (2025年3月31日現在)	前期 (2024年3月31日現在)
(資産の部)		
1 流動資産	30,099	29,102
1 現金及び預金	13,778	12,691
1 受取手形及び売掛金	7,989	7,845
1 棚卸資産	7,415	8,172
その他	916	393
固定資産	17,006	17,448
2 有形固定資産	12,989	13,286
無形固定資産	898	1,003
投資その他の資産	3,118	3,158
資産合計	47,106	46,551

(単位:百万円)

科 目	当期 (2025年3月31日現在)	前期 (2024年3月31日現在)
(負債の部)		
3 流動負債	4,700	5,534
固定負債	3,686	3,534
負債合計	8,386	9,068
(純資産の部)		
株主資本	31,596	30,132
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,412	1,412
利益剰余金	30,969	29,505
自己株式	△2,340	△2,340
その他の包括利益累計額	7,122	7,350
4 純資産合計	38,719	37,483
負債純資産合計	47,106	46,551

POINT

1

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億96百万円増加し、300億99百万円となりました。主な増加は、現金及び預金が10億86百万円、売掛金が5億79百万円であり、主な減少は、原材料及び貯蔵品が6億8百万円であります。

POINT

2

有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億96百万円減少し、129億89百万円となりました。主な減少は、建物及び構築物3億11百万円であります。

POINT

3

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億33百万円減少し、47億円となりました。主な減少は、短期借入金5億45百万円、未払法人税等3億23百万円であります。

POINT

4

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億36百万円増加し、387億19百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する当期純利益20億26百万円であり、主な減少は、剰余金の配当5億61百万円であります。

POINT

5

「電線・加工品」セグメントでは、車載用ケーブルは引き続き堅調に推移しました。エネルギー産業関連ケーブルは一部の案件における工期延伸の影響等を取り戻し回復しました。情報通信向けケーブルはサーバ/ストレージ用ケーブルの新規受注、決済端末機器需要増により増加しております。半導体製造装置は復調傾向にありますが、回復は生成AI用途向けが中心であり軟調な推移となりました。産業機器用ケーブルも需要の停滞が続き低調に推移しております。「電子・医療部品」セグメントでは、電子の分野では、ネットワーク機器において専門用途品が好調に推移しました。医療部品の分野では医療用特殊チューブの売上が増加しました。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	(2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	(2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
5 売上高	30,802	29,326
売上原価	23,577	22,795
売上総利益	7,225	6,530
販売費及び一般管理費	4,957	4,862
営業利益	2,267	1,667
営業外収益	444	494
営業外費用	155	80
経常利益	2,557	2,081
特別利益	—	29
特別損失	37	436
税金等調整前当期純利益	2,519	1,674
法人税、住民税及び事業税	433	885
法人税等調整額	60	△650
当期純利益	2,026	1,439
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△4
親会社株主に帰属する当期純利益	2,026	1,444

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	(2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	(2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,888	4,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,242	△1,348
財務活動によるキャッシュ・フロー	△912	△763
現金及び現金同等物に係る換算差額	△150	632
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	582	2,721
現金及び現金同等物の期首残高	10,221	7,499
現金及び現金同等物の期末残高	10,803	10,221

連結株主資本等変動計算書

当期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	1,555	1,412	29,505	△2,340	30,132	926	6,402	21	7,350	—	37,483
当期変動額											
剰余金の配当			△561		△561						△561
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,026		2,026						2,026
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						114	△331	△10	△227	—	△227
当期変動額合計	—	—	1,464	—	1,464	114	△331	△10	△227	—	1,236
当期末残高	1,555	1,412	30,969	△2,340	31,596	1,040	6,070	10	7,122	—	38,719

株式無償割当ての実施

当社は、株式の流動性向上および自己株式の有効活用による株主還元を目的として、2025年4月1日に、普通株式1株につき0.05株の割合で自己株式の無償割当てを実施いたしました。

この無償割当てにより、株主の皆様の保有株数が増加し、その結果として受け取る配当総額も増加します。これは、2.25円の増配に相当する効果があります。したがって、今回の無償割当てと今期の2円の増配を合わせると、実質的に1株当たり4.25円の増配となります。

吉野川電線株式会社を当社グループに迎えました

2025年6月2日付で、吉野川電線株式会社の株式を取得し、当社グループに迎えることとなりました。

吉野川電線は、産業用ロボットの高可動部に使用される「ロボットケーブル」の分野において、ニッチトップの地位を確立している企業です。高速連続運転や長時間稼働、さらには複雑で繊細な動作が求められる産業用ロボットに対応するための、優れた耐久性と柔軟性を備えたケーブルの設計・製造において、高い技術力とロボットケーブルのパイオニアとしてのブランド力を有しています。

今後は、両社の技術力を融合させ、世界的に成長が見込まれる産業用ロボットを含むFA（ファクトリーオートメーション）市場や、次世代IoT市場において、売上拡大と新製品の開発・投入を積極的に推進してまいります。

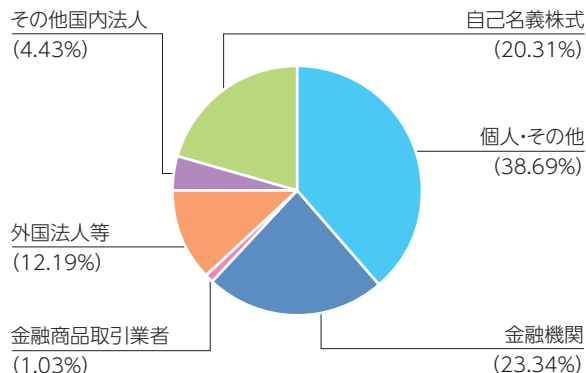
会社概要

商号 平河ヒューテック株式会社
HIRAKAWA HEWTECH CORP.
設立 1948年9月
資本金 15億5,507万760円
従業員数 2,151名(連) 351名(単)

役員氏名 (2025年6月27日現在)

ヒューテックグループ代表取締役会長	隅田和夫
代表取締役	篠祐一
取締役	目黒裕次
社外取締役	戸田哲郎
社外取締役	山本夕子
社外取締役	高宮勝也
常勤監査役	橋本孝博
社外監査役	阿部博
社外監査役	江部安弘
執行役員社長	篠祐一
執行役員	林繁夫
執行役員	佐藤彰洋
執行役員	福田博国
執行役員	佐藤雄一郎
執行役員	辻本徳志
執行役員	肱岡健郎
執行役員	村木宏一

所有者別株式分布状況



ヒューテックグループ

海外拠点

- 連結子会社 (製造)
HIKAM ELECTRONICA DE MEXICO, S.A. DE C.V.
HIKAM TECNOLOGIA DE SINALOA, S.A. DE C.V.
福泰克(惠州)电子有限公司
- 連結子会社 (販売)
HIKAM AMERICA, INC.
CONNPRO INDUSTRIES INC.
台湾福泰克股份有限公司
上海河拓克貿易有限公司
福泰克香港有限公司
HEWTECH (BANGKOK) CO., LTD.
- 連結子会社 (製造・販売)
福泰克(連雲港)电子有限公司
HEWTECH PHILIPPINES CORP.
HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS CORP.

国内拠点

- 本社
東北営業所
古河事業所
中部営業所
関西営業所
- 開発・生産 (工場・事業所)
桃生工場
福島工場
新潟工場
古河事業所
- 連結子会社 (製造・販売)
株式会社新潟電子
吉野川電線株式会社
四国電線株式会社

当社ホームページのご案内



<https://www.hewtech.co.jp/>

IR情報をはじめ、当社をよりご理解いただくための情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 及び 特別口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により 電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	証券会社等に口座を お持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社 等になります。	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-232-711 (受付時間 土・日・祝日を 除く9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り方 法の変更等)		三菱UFJ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金の お支払		三菱UFJ信託銀行 本店及び全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右の「 特別口座の場合 」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

● 株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

お問い合わせ先

お取引のある証券会社 または
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル **0120-696-505**
9:00~ 17:00(土・日・祝日を除く)
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



平河ヒューテック株式会社

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号 相鉄田町ビル7F
TEL 03-3457-1400 ホームページアドレス <https://www.hewtech.co.jp/>

